

第1回 柳田地区復興まちづくり協議会

配布資料

2025年5月27日

能登町 復興推進課

1. 能登町地区別復興まちづくり計画について

計画の趣旨

令和6年1月1日の「令和6年能登半島地震」の被災を境に、私たちの暮らしは大きく変わりました。その後、同年9月21日から23日にかけて記録的な大雨をもたらした「令和6年奥能登豪雨」によって再び甚大な被害を受け、多くの町民が今の暮らしと将来への不安を抱えている状況にあります。

地震や豪雨災害によって人的資源や財政状況は一層厳しい状況にありますが、**本町の豊かな資源と魅力を守り、被災前の地域課題と災害で顕在化した新たな課題を解決することは、この地域の復興に不可欠**であります。

本町では、今後の復興まちづくりにおける基本的な方針と取り組みの方向性を示す計画として、「能登町復興計画」を令和7年2月に策定しました。

本年は、同計画に示した「再生と創造に向けた5つの柱」に基づき、特にまちづくりに関する方策を担う計画として、「**能登町地区別復興まちづくり計画**」の策定します。

この計画では、災害からの復旧にとどまらず、地域社会の復興の先を見据え、**小学校区で区分した地域ごとに課題を抽出し、目指すべき将来像とまちづくりの目標を掲げ**、各地区の**個性や特徴を生かしたまちづくりの方針と取組・施策を策定**します。

計画策定の過程で、**行政(国・県・町)とともに復興の主体となる町民(地域住民)の皆さんの声を聴取し**、計画に反映します。

地区区分



計画の構成・骨子(案)

能登町復興まちづくり計画は、町全域を対象とした【全体計画】と、小学校区で区分した地域ごとの【地区別計画】で構成します。

能登町復興まちづくり計画

1. 全体計画

- 1.1. 概要
- 1.2. 現況
- 1.3. 課題
- 1.4. 目指すべき将来像
 - 1.4.1. 将来像
 - 1.4.2. 基本目標

2. 地区別計画

(※2.1. 宇出津地区／2.3. 松波地区／2.4. 小木地区／2.5. 鶺川地区)

2.2. 柳田地区復興まちづくり計画

- 2.2.1. 復興の課題《柳田地区》
- 2.2.2. 目指すべき将来像《柳田地区》
 - (1) 将来像
 - (2) 基本目標
- 2.2.3. 復興まちづくり方針《柳田地区》
 - (1) 住宅再建の考え方(方針)
 - (2) 日常生活圏再生の考え方(方針)
 - (3) 安心・安全の考え方(方針)
- 2.2.4. 復興まちづくり施策《柳田地区》

2. 能登町復興まちづくり協議会の全体スケジュール

全体スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
柳田地区復興まちづくり協議会		<p>第1回</p> <p>【テーマ】 □地区の特徴 □まちづくりに求めること</p>	<p>ワークショップ</p> <p>【テーマ】 □柳田地区に必要な機能・施設・取組</p> <p>※協議会委員のほか、住民の方に広く参加を募ります</p>	<p>第2回</p> <p>【テーマ】 □まちづくりの方向性 □具体的な取組</p>			<p>第3回</p> <p>【テーマ】 □施策・プロジェクトの検討 □町と地域の役割整理</p>	
地区別復興まちづくり計画の検討		協議会とりまとめ ①	ワークショップとりまとめ	協議会とりまとめ ②		計画骨子	協議会とりまとめ ③	計画素案
		[2.2.2.] 目指すべき将来像	[2.2.3.] 復興まちづくり方針					[2.2.4.] 復興まちづくり施策

3. 第1回柳田地区復興まちづくり協議会

タイムスケジュール

18:30～	開会あいさつ	復興推進課長
18:32～	□事前説明 ①協議会の趣旨と「協議会設置要綱」について ②意見交換の進め方(作業方法)について	復興推進課 日本工営都市空間
18:40～	□学識者紹介	学識者
18:45～	□自己紹介(※各自1分以内でお願いします)	委員
19:00～	□意見交換 task① 『地域の魅力・資源』の再認識 * 自然、伝統文化、景観、暮らし、産業、施設などで、地域の魅力・資源として「残したい」、「生かしたい」ものを図面に落としてください。 task② 震災・豪雨の被害状況と復旧状況の確認 * 未だ復旧できていない道路・橋梁や、再開できていない施設を図面に落としてください。 * 被災して気づいた「安全・安心」に必要と感じたことを挙げてください。 task③ 『柳田の復興』の先の未来の姿の想像 * 復興に際しての「地域の魅力・資源の生かし方」をご提案ください。 * 「こうありたい・こうしたい」という柳田の復興像(未来の姿)とアイデアをご提案ください。 住宅施策 住み続ける／柳田移住のアイデア出し * 住宅再建・整備の方針や、古民家再生など「居住」に関するアイデアをご提案ください。	◆意見交換(班ごとの作業) :委員 ◆会場巡回・アドバイス :学識者 ◆各班ファシリテーター :日本工営都市空間・日本工営 ◆オブザーバー :復興推進課 ◆質問受付 :復興住宅課(災害公営住宅の検討状況について) :建設水道課(道路・水道の復旧状況について)
～20:00		
20:05～	□グループ発表(3分/班)+質疑(2分/班)	◆座長:学識者 ◆発表:各班代表者ほか ◆質問:委員・学識者 ◆回答:委員
20:20～	□総評	片桐先生
20:28～	閉会あいさつ	復興推進課長

学識者紹介

片桐由希子 博士(学術)

金沢工業大学工学部 環境土木工学科准教授

【プロフィール】

慶應義塾大学環境情報学部卒。同大学大学院政策・メディア研究科修士課程、博士課程単位取得退学。東京大学GCOEプログラム「都市空間の持続再生学の展開」特任助教、東京都立大学環境学部観光科学科助教を経て、2020年4月より金沢工業大学工学部環境土木工学科講師、2023年4月より現職。能登SDGsラボ連携研究員。

3. 第1回柳田地区復興まちづくり協議会

参加者名簿(委員)

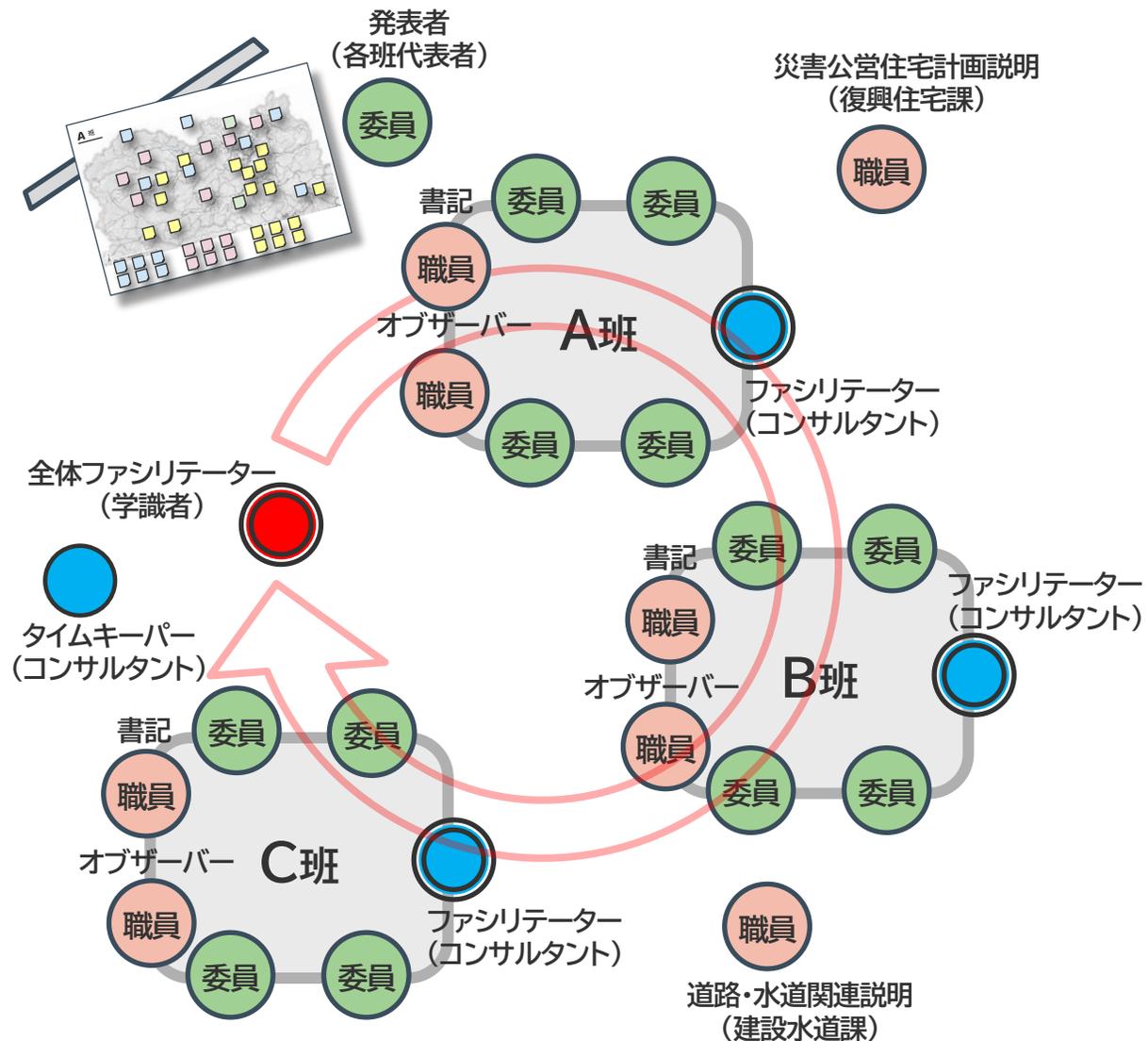
区分	氏名	役職	備考
委員長	山森 景治	能登町会区長会連合会柳田支部長 ／復興推進委員	A班
委員	藤村 真行	柳田公民館(消防団)	B班
委員	渋田 佳代	柳田公民館	C班
委員	中谷 志津	上町公民館	A班
委員	小谷内 豊	上町公民館	B班
委員	平 千城	小間生公民館	C班
委員	東 明宏	岩井戸公民館	A班
委員	新池 まゆみ	柳田小PTA	B班
委員	東 世宗	柳田消防団	A班
委員	今 圭子	公募参加者	C班
委員	池崎 正典	公募参加者	B班
委員	福池 功	復興推進委員	C班
委員	重野 さとみ	復興推進委員	A班
委員	上野 朋子	復興推進委員	B班

事務局等 名簿

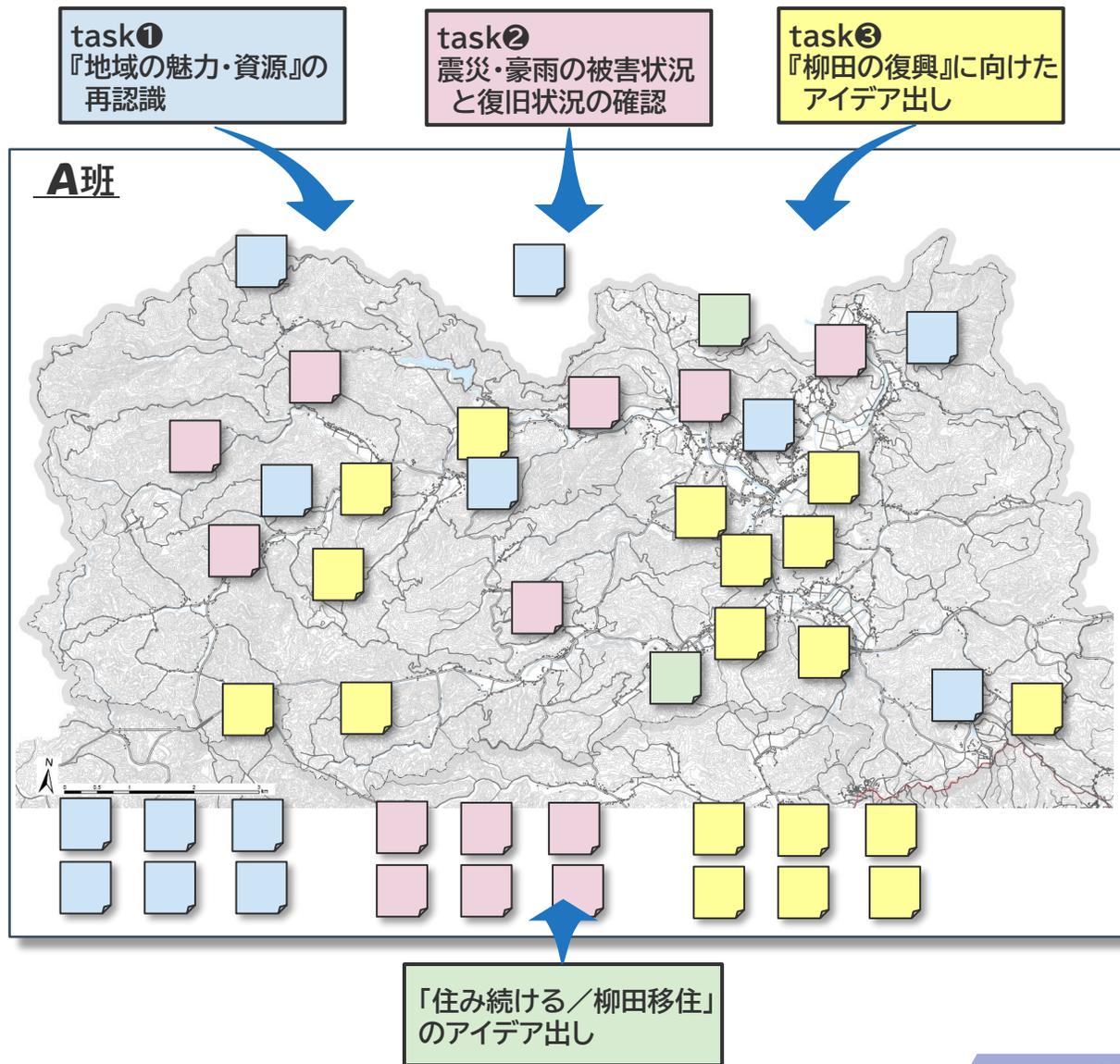
区分	氏名	所属・役職	備考
学識者	片桐 由希子	金沢工業大学 工学部 環境土木工学科准教授	全体ファシリテーター
事務局	村木 茂	能登町役場復興推進課 課長	
事務局	下谷内 哲次	能登町役場復興推進課 課長補佐	A班オブザーバー
事務局	灰谷 貴光	能登町役場復興推進課 主幹	C班オブザーバー
事務局	朝川 千春	能登町役場復興推進課 係長	
事務局	道岸 亮介	能登町役場復興推進課 主査	B班書記
事務局	水戸 一弘	能登町役場復興推進課 主査	B班オブザーバー
事務局	坂下 優樹	能登町役場復興推進課 主事	A班書記
事務局	朴澤 亨	能登町役場復興推進課 主事	C班書記
事務局	鏡島 敏雄	能登町役場復興住宅課 課長	災害公営住宅状況説明(随時)
事務局	大平 哲也	能登町役場建設水道課 課長補佐	道路・水道関連状況説明(随時)
事務局	木村 裕蔵	日本工営都市空間株式会社	全体司会・A班ファシリテーター
事務局	谷家 一郎	日本工営都市空間株式会社	B班ファシリテーター
事務局	林 洋一郎	日本工営株式会社	C班ファシリテーター
事務局	波多野 由基	日本工営株式会社	タイムキーパー・写真撮影

3. 第1回柳田地区復興まちづくり協議会

会場プラン



意見交換(作業)のイメージ



3. 第1回柳田地区復興まちづくり協議会

意見交換会メモ

柳田地区の 特色・魅力の 再認識	
震災・豪雨の 被害状況 ・復旧状況 の確認	
柳田地区の 復興の先の 「未来の姿」 の想像	

グループ発表メモ

A班	
B班	
C班	

第1回協議会事後アンケートのご案内

協議会の時間が限られていたこともあり、十分にご発言いただけなかった方もいらっしゃると思います。追加意見を受け付けますので、ご意見がございましたら右記のQRコードまたはURLからご回答ください。なお、意見の受付は**6月3日(火)**までとなりますので、宜しくお願いいたします。

アンケートについてご不明な点がございましたら、
能登町復興推進課(TEL 0768-62-8529)までお問い合わせください。
担当:灰谷、朴澤、道岸

事後アンケートQRコード



URL

<https://logoform.jp/f/eh105>